

# 畜産企業は危機に直面している

## 糞尿を吸収させる敷料



## 家畜排せつ物法による堆肥化作業



吸水劣化で病原菌発生

悪環境で過重労働

ストックヤード不足

労働者不足

価格高騰  
品質低下

燃料費の高騰

**運営難・悪臭問題  
持続できない環境**

## 増頭による売上向上



人手不足

品質の強化

建物の老朽化

需要がない

牛舎や堆肥舎の新築は不可能

運搬・散布まで作業量が膨大

## 生産した堆肥






**抜本的解決は、吸水性を求めた従来の敷料から透水性のリサイクル資材SFSに替える！**

**「SFS」: Soft Fermentation Soil 熟成土壌から作るソフト発酵土** (特許第6026826号)  
【微生物存在数はグラム当たり12~20億菌体存在する単位重量0.40~0.42の柔かい土】

# SFSによるリサイクルの仕組み

## ② 牛舎床を透水性に改造



-  表面をPRMS加工
-  透水性アスファルト舗装
-  止水モルタル
-  地盤改良（硬化剤）

## ① 熟成土壌システムからSFSを製造



高速高温密封発酵機  
（特許第6026826号）

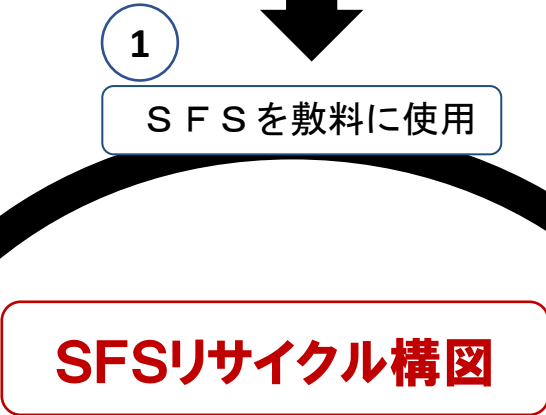


赤菌

## ③ 浄化槽処理と液肥の製造



尿の浄化処理  
液肥の製造



1

SFSを敷料に使用

2

糞混入の汚物  
SFSを回収

3

再生発酵装置に入れて  
空気循環装置に接続

4

発酵後のSFSを  
冷却して常温再生



敷料入替え



汚物のSFS



再生後のSFS  
ストックヤードへ



コンテナ発酵槽に投入



発酵槽内部



空気循環と  
冷却装置

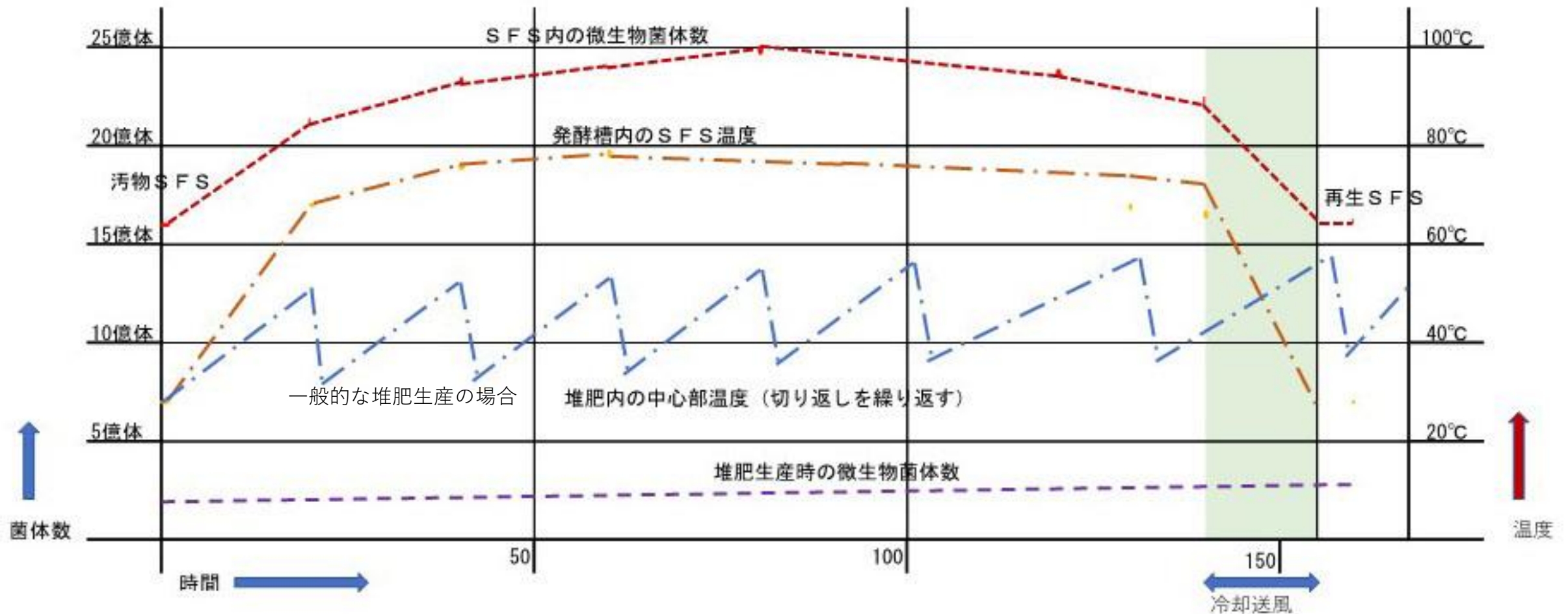


再生発酵装置



発酵槽の運搬

## 一般的な堆肥生産とSFSを用いたリサイクルとの工程比較



## SFSに替えることのメリット

1. 従来のワラやオガコ敷料は毎年購入するが、SFSはメンテナンスだけで15%の経費節減となる。
2. SFSのストックヤードは、従来の敷料のストックヤード面積の1/12で賅える。
3. SFSは、従来の敷料より6倍の耐久性があり、実質労働時間は1/4に短縮される。
4. SFSは、リサイクルできるので、従来の堆肥生産工程が無くなり、労働作業量は1/3となる。
5. 一般的な堆肥を生産しないので、従来の堆肥舎を牛舎に転用でき、牛の増頭が可能となる。